

特集

リハビリテーションに必要な産業医学の知識

障害者の職場復帰のほか、頸肩腕障害への対応など、リハビリテーションは産業医学と密接にかかわってきた歴史的経緯があります。近年、労働人口の高齢化に伴い、高齢労働者の就労能力の低下、疾病の多発、労働災害の増加などがみられており、リハビリテーションがこれらの課題解決に応用できる可能性があり、リハビリテーションと産業医学・産業保健との連携強化の必要性が指摘されています。しかし、リハビリテーション専門職種の産業医学に対する知識や認識が乏しいのが現状です。今回、産業医学に関する基本的知識や今後取り組むべく課題など、各専門家に解説をいただきました。

リハビリテーションの役割 佐伯 寛氏……………505

産業医学・産業保健におけるリハビリテーションの役割と今後の展望に関して総論的な解説を行っている。予防的リハビリテーションの観点から、リハビリテーション医学の手法を産業医学に応用する方法について詳しく論じている。今後、これらの手法を“産業リハビリテーション医学”として体系化すること、リハビリテーション関連職種の産業医学への積極的な関与の必要性を述べている。

就労障害者の健康管理 伊藤英明氏ら……………511

産業医の立場から、一般企業における就労障害者の現状や健康管理について論じている。法定雇用率の引き上げにより就労障害者数が増え、健康管理面の新たな課題が増えること、産業保健関係者の関与の少ない小規模事業所では困難に直面することが多くなることを指摘している。加齢に伴う就業能力の低下や障害の悪化予防に関して、雇用者側が就労障害者の特性について理解し個別的対応を行う必要がある。

ニュース	障害児家庭に訪問保育一都内の2区で4月から開始……………	509
	「ノーマライゼーション 障害者の福祉」4月号特集目次……………	526
	介護福祉士合格率61%—EPA 外国人は初の40%台……………	540
	6割以上が看護職不足—被災地の介護施設など調査（日本看護協会）……………	552
	障害持つ学生最多—大学や高专、昨年1.4万人……………	578
	5資格の合格発表—理学療法士は9,952人誕生……………	578
	パラリンピック教育を全国展開—文部科学省……………	578

非特異的腰痛 松平 浩氏.....517

近年、原因を特定することが困難な“非特異的腰痛”が注目されている。その対応として、腰椎の形態学的異常を主とする局所の問題のみではなく心理社会的モデルとして捉えること、画一的、均一な診療や治療を行うのではなく、サブグループに分けてケアすること、患者に受け身ではなくセルフマネジメントの重要性を理解させる必要があることを述べている。

産業理学療法士の展開 高野賢一郎氏.....527

産業保健分野における労働者の健康増進・体力増進を目的とした理学療法士の介入として“産業理学療法”が提唱されている。現場での活動状況の紹介をはじめ、実施にあたっての注意点について述べている。今後の展開として、産業理学療法の実践・研究の推進、産業保健スタッフとの連携強化、本領域に関わる理学療法士を増やすことなどについて触れている。

労働衛生行政の動向 泉 陽子氏.....535

泉氏は厚生労働省労働衛生課の課長として、わが国の労働行政を担っている。労働衛生行政の概要、労働安全衛生法、労働衛生管理体制、労働衛生三管理とリスクマネジメントなどの基本的事項について大変わかりやすく解説している。労働衛生行政上、リハビリテーションに関連が深い課題として、“腰痛対策”、“メンタルヘルス対策”、“治療と就労の両立”を取り上げている。

書評 私たち抜きに私たちのことを決めないで—障害者権利条約の軌跡と本質（評者：高岡徹）.....553
 どんなに障害が重くとも—1960年代・島田療育園の挑戦（評者：橋本圭司）.....571

お知らせ 第50回日本脊髄障害医学会.....526
 藤田リハADL講習会.....577
 臨床家のための認知症理解と臨床的思考.....585